

自由民主党

東日本大震災復興加速化本部長

額賀 福志郎 様

要 望 書

平成28年8月17日

福島県南相馬市長 桜井 勝延

東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故から5年5か月が経過した現在、本市は、一刻も早く市民が安全・安心に住み続けることのできる環境を取り戻すため、各種復興事業に全力で取り組んでいるところです。

しかし、近隣自治体の避難指示区域から2千人を超す避難者の受け入れが進む一方で、今なお約1万人の市民が市外への避難を続け、約1万7千人の市民が市内外での避難生活を余儀なくされております。

市内における帰還困難区域を除く避難指示解除後の区域については、帰還者が7月末現在で約400人(震災前居住人口約1万4千人)に留まり、生活の再開、生業の再建、まちの再生など課題が山積する中、当該区域の復興の緒に就いたところです。

本市の復興を加速化させるとともに、避難を余儀なくされている市民の早期帰還を達成するためより一層の支援が必要であることから、下記事項を確実に実現するよう要望します。

## 記

1. 市民の帰還促進、企業誘致の推進、交流人口の拡大、緊急時の避難路の確保のため、「復興インターチェンジ」(仮称)を南相馬市小高区に設置すること。
2. 本市の復興拠点等整備計画を最大限に尊重し、小高区に整備する復興拠点施設への確実な財源措置を行うこと。

以上